



大分県農山漁村女性アドバイザー研修の開催

2015/11/30

平成27年9月に開始した大分県農山漁村女性アドバイザー登録制度は県内の農林水産業（加工を含む）に従事している女性のスキルアップを支援し、担い手としての個々の経営や地域社会への参画意識を醸成することを目的としています。アドバイザーに登録された方は自身の活動内容に応じて若い世代の育成に協力いただきます。現在、当会の会員24名が登録。“加工技術や郷土料理を伝授したい”“加工所を見学させてあげたい”“仕事、家庭・子育てなどの相談にのりたい”など若い方へ伝えたいスキルや知識は様々ですが思いは一緒です。

平成27年11月30日、大分県都市農村交流研修館にて「若い農山漁村女性の育成に向けて」をテーマに大分県農山漁村女性アドバイザー研修を開催しました。講師は別府大学文学部准教授を務める佐藤敬子先生。キャリア教育、接遇・マナー研修、家庭教育、女性教育などについて全国で講演を行う教育行政・女性教育のスペシャリストです。

会場を歩き回り、出席者とコミュニケーションをとりながらの講義はたいへん楽しく面白く、2時間の講義は“あっという間”に終わりました。佐藤先生の講義のポイントはこちらです↓↓↓

- キャリアとは自分の足跡。キャリアの発展にはエネルギーが必要。エネルギーとなる5つの要素は以下のとおり。
 - ①好奇心（新しい学習機会を模索すること）、②持続性（失敗に屈せず努力すること）、③楽観性（新しい機会が「必ず実現する」「可能となる」と捉えること）、④柔軟性（信念、概念、態度、行動を変えること）、⑤挑戦（結果が不確実でも行動を起こすこと）
- 血縁、地縁、仕事縁がなくなる。最後に残るのは「活動の縁」。
- 生育歴、教育、興味、経験などから、「伝える」ことは難しい。
- 若い世代へ自分の「知恵・技・経験」を伝えるためには、コミュニケーション力を磨くことが重要。
 - ・「きく」は「聴く」。
 - ・ものの見方は一つではない。「プラス思考」でものを見る。
 - ・「あなたが〇〇なのは私にとって〇〇」という承認する（認める）スキル。
 - ・重要なのは話している長さではなく回数（いつも声をかける）。
 - ・伝えるためのコツは、「分かりやすく」、「明確に」、「論理的」に「簡潔に（3つまでしか覚えぬい）」。



別府大学文学部准教授の佐藤敬子先生



出席者とのコミュニケーションも

平成27年度

大分県農山漁村女性アドバイザー研修

あなたが伝える“農山漁村の輝く未来”
～若い世代を育てるワザを磨こう～

(財)生涯学習開発財団認定コーチ
(社)日本産業カウンセラー協会認定
キャリアコンサルタント・産業カウンセラー 佐藤 敬子

～ 大分県農山漁村女性アドバイザーとは ～

農林水産業（加工を含む）に関する知識、スキルを有し、担い手育成に意欲的な農林水産業（加工を含む）に従事する女性で、以下のいずれかの活動ができる方です。

- 農林水産業に関する知識や技術等の伝授（講演や視察の受け入れ等）
- 農林水産物の加工技術や郷土料理の技術等の伝授
- 経営や生活、家庭・子育てと仕事に関する相談への助言等
- 研修時などにおける託児支援 など

※登録期間は登録日から平成29年度末（平成30年3月末）です。登録料は無料です。登録希望の方は事務局までご連絡ください。